

平成 31 年度
(2019 年度)

決算等審査意見書

稲城・府中墓苑組合監査委員



2 稲府墓監発第 6 号
令和 2 年 8 月 27 日

稲城・府中墓苑組合管理者

高 橋 勝 浩 殿

稲城・府中墓苑組合監査委員

岩 藤 真 実

稲城・府中墓苑組合監査委員

西 村 陸

平成 31 年度稲城・府中墓苑組合一般会計・墓地特別会計歳入歳出決算
及び各基金の運用状況を示す書類の審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定に基づき審査に付された平成 31 年度稲城・府中墓苑組合一般会計・墓地特別会計歳入歳出決算及び同法第 241 条第 5 項の規定に基づき審査に付された平成 31 年度稲城・府中墓苑組合各基金の運用状況を示す書類について審査した結果、別紙のとおり意見を付します。

- * 小数点以下の表示は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までを表示した。
- * 該当の数字がないものは「—」と表示した。

平成 31 年度稲城・府中墓苑組合一般会計及び墓地特別会計
歳入歳出決算の審査意見書

1 審査等の種類

地方自治法第 233 条第 2 項の規定及び稲城・府中墓苑組合監査基準に基づく決算審査

2 審査の対象

平成 31 年度 稲城・府中墓苑組合一般会計歳入歳出決算書、墓地特別会計歳入歳出決算書及び関係書類

3 審査の手續及び着眼点並びに実施内容

審査に当たっては、提出された決算書が法令に従い調製及び作成されているか、計算に間違いはないか、支出命令等に符号しているか、収支は適法であるか等に主眼を置き、書類審査及び職員の説明の聴取により実施した。

4 審査の実施場所及び日程

実施場所：公営 稲城・府中メモリアルパーク 南山ホール 2 階洋室

日 程：令和 2 年 7 月 28 日

5 審査の結果

審査に付された決算及び証書類は、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されており、かつ証拠書類と照合したところ、計数に誤りはないものと認められた。

1 決算の規模と収支状況

平成31年度稲城・府中墓苑組合一般会計及び墓地特別会計の歳入歳出決算は次のとおりである。

(1)一般会計歳入歳出決算

(単位：円)

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額 (形式収支)	翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支額
87,013,866	73,948,903	13,064,963	0	13,064,963

この決算額の対前年度との比較は次のとおりである。

(単位：円、%)

区分	年度	31年度	30年度	対前年度	
				増減額	増減率
歳入総額	A	87,013,866	84,206,824	2,807,042	3.3
歳出総額	B	73,948,903	70,368,520	3,580,383	5.1
歳入歳出差引額 (A-B)	C	13,064,963	13,838,304	△773,341	△5.6
翌年度へ繰り 越すべき財源	D	0	0	0	0.0
実質収支額 (C-D)	E	13,064,963	13,838,304	△773,341	△5.6
前年度実質収支額	F	13,838,304	12,480,063	1,358,241	10.9
単年度収支額 (E-F)	G	△773,341	1,358,241	△2,131,582	△156.9

本年度の一般会計の歳入総額は8,701万3,866円で、前年度と比較すると280万7,042円(3.3%)の増となっている。歳出総額は7,394万8,903円で、前年度と比較すると358万383円(5.1%)の増となっている。

本年度の歳入総額から歳出総額を差し引いた歳入歳出差引額は1,306万4,963円で、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支額は1,306万4,963円となっている。

(2)墓地特別会計歳入歳出決算

(単位：円)

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額 (形式収支)	翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支額
990,323,404	982,255,882	8,067,522	0	8,067,522

この決算額の対前年度との比較は次のとおりである。

(単位：円、%)

区分	年度	31年度	30年度	対前年度	
				増減額	増減率
歳入総額	A	990,323,404	1,076,683,181	△86,359,777	△8.0
歳出総額	B	982,255,882	1,060,803,549	△78,547,667	△7.4
歳入歳出差引額	(A-B) C	8,067,522	15,879,632	△7,812,110	△49.2
翌年度へ繰り 越すべき財源	D	0	0	0	0.0
実質収支額	(C-D) E	8,067,522	15,879,632	△7,812,110	△49.2
前年度実質収支額	F	15,879,632	29,423,406	△13,543,774	△46.0
単年度収支額	(E-F) G	△7,812,110	△13,543,774	5,731,664	42.3

本年度の墓地特別会計の歳入総額は9億9,032万3,404円で、前年度と比較すると8,635万9,777円(△8.0%)の減となっている。歳出総額は9億8,225万5,882円で、前年度と比較すると7,854万7,667円(△7.4%)の減となっている。

本年度の歳入総額から歳出総額を差し引いた歳入歳出差引額は806万7,522円で、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支額は806万7,522円となっている。

2 歳入の状況

(1)一般会計歳入決算

本年度の予算現額は8,321万1,000円で、調定額は8,701万3,866円、収入済額は8,701万3,866円、予算現額に対する収入率は104.6%である。

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	不納 欠損額	収入 未済額
31年度	83,211,000	87,013,866	87,013,866	104.6	0	0
30年度	84,736,000	84,206,824	84,206,824	99.4	0	0
増減額	△1,525,000	2,807,042	2,807,042	—	0	0
増減率	△1.8	3.3	3.3	5.2	0.0	0.0

(2)墓地特別会計歳入決算

本年度の予算現額は12億5,059万2,000円で、調定額は9億9,032万3,404円、収入済額は9億9,032万3,404円、予算現額に対する収入率は79.2%である。

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	不納 欠損額	収入 未済額
31年度	1,250,592,000	990,323,404	990,323,404	79.2	0	0
30年度	1,699,669,000	1,076,683,181	1,076,683,181	63.3	0	0
増減額	△449,077,000	△86,359,777	△86,359,777	—	0	0
増減率	△26.4	△8.0	△8.0	15.9	0.0	0.0

3 歳出の状況

(1)一般会計歳出決算

本年度の予算現額は8,321万1,000円で、支出済額は7,394万8,903円、翌年度繰越額はなく、不用額は926万2,097円、執行率は88.9%である。

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	支出済額	執行率	翌年度 繰越額	不用額
31年度	83,211,000	73,948,903	88.9	0	9,262,097
30年度	84,736,000	70,368,520	83.0	0	14,367,480
増減額	△1,525,000	3,580,383	—	0	△5,105,383
増減率	△1.8	5.1	5.9	0.0	△35.5

(2)墓地特別会計歳出決算

本年度の予算現額は12億5,059万2,000円で、支出済額は9億8,225万5,882円、翌年度繰越額はなく、不用額は2億6,833万6,118円、執行率は78.5%である。

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	支出済額	執行率	翌年度 繰越額	不用額
31年度	1,250,592,000	982,255,882	78.5	0	268,336,118
30年度	1,699,669,000	1,060,803,549	62.4	0	638,865,451
増減額	△449,077,000	△78,547,667	—	0	△370,529,333
増減率	△26.4	△7.4	16.1	0.0	△58.0

(3)歳出の性質別比較（普通会計）

歳出の性質別比較は、普通会計によるものとし、次表のとおりである。なお、普通会計とは地方公共団体の会計のうち公営事業会計を除く会計を統合したものであり、地方財政統計上統一的に用いられる会計区分である。

(単位：千円、%)

区分	31年度		30年度		対前年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
人件費	55,948	5.4	55,752	5.0	196	0.4
物件費	45,730	4.4	43,104	3.9	2,626	6.1
維持補修費	458	0.0	944	0.1	△486	△51.5
扶助費	480	0.1	480	0.1	0	0
補助費等	11,930	1.2	11,135	1.0	795	7.1
公債費	527,023	51.2	527,022	47.6	1	0.0
積立金	388,728	37.7	467,990	42.3	△79,262	△16.9
合計	1,030,297	100.0	1,106,427	100.0	△76,130	△6.9

(4)歳出の目的別比較（普通会計）

歳出の目的別比較は、普通会計によるものとし、次表のとおりである。なお、区分については、地方財政統計上用いられているもので、決算書における予算科目とは計上が異なる。

(単位：千円、%)

区分	31年度		30年度		対前年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
議会費	2,213	0.2	1,538	0.1	675	43.9
総務費	552	0.1	542	0.1	10	1.8
民生費	480	0.1	480	0.1	0	0.0
衛生費	500,029	48.5	576,845	52.1	△76,816	△13.3
公債費	527,023	51.1	527,022	47.6	1	0.0
合計	1,030,297	100.0	1,106,427	100.0	△76,130	△6.9

4 物品

物品の現在高（取得価額50万円以上）

区分	前年度末 現在高	30年度中 増減高	30年度末 現在高
乗用自動車	2	0	2
音響機器	2	0	2
遺体保冷库	3	0	3
祭壇	2	0	2

5 基金

基金の現在高

(単位：円)

区 分	前年度末 現在高	31 年度中増減高		31 年度末 現在高
		増	減	
財政調整基金	42,476,137	43,239	2,000,000	40,519,376
墓地管理運営基金	975,601,249	388,685,097	574,236,475	790,049,871
合 計	1,018,077,386	388,728,336	576,236,475	830,569,247

6 まとめ

平成 31 年度稲城・府中墓苑組合の一般会計及び墓地特別会計における歳入歳出決算の執行状況、及び事務事業の実施状況を審査したところ、事務は適正に処理されていると認められた。

平成 31 年度決算では、一般会計においては、歳入の予算比収入率が 104.6%、歳出の執行率が 88.9%であり、墓地特別会計においては、歳入の予算比収入率が 79.2%、歳出の執行率が 78.5%であった。

歳入面では、南山ホール使用料収入が対前年度比約 13%増となり、前年度に引き続き稼働率が向上していることは、南山ホールの認知度が徐々に高まっていることが伺える。一方で、式場の稼働率が 2 割程度であること、また霊安室の使用者拡大も行ったとのことであるので、使用促進に向けた PR 方法等を充実させ、さらなる稼働率向上に努められたい。

墓地使用料については、芝生墓地及び合葬式墓地の使用申込件数が供給計画数を下回ったため、前年度に引き続き墓地使用者の追加募集を実施し、墓地使用料全体で予算額の 6 割程度の収入となった。また、墓地供給方法等の見直し方策の検討についても、継続して進めているとのことであるので、併せて募集チラシの配布方法やインターネットの活用等も含め幅広く検討し、今後の墓地使用料の安定的な確保に努めていくことを期待する。

歳出面では、墓地使用料収入の減に伴う墓地管理運営基金積立金の減を除き、概ね予算どおりに執行されているが、特別会計の諸支出金においては、前年度決算の確定により繰越金等の増額補正予算を行っている、一方で墓地の使用申込件数が供給予定件数より少なくなったことによる減額の補正を行わなかったことにより、執行率が 60.0%と低くなっている。墓地申込件数が読めない事情も考慮できるが、今後は予算額のさらなる精査に努められたい。

最後に、新型コロナウイルス感染症による南山ホール及び墓地使用料の収入に影響があることも想定されるため、その対策も検討しながら今後も適正な執行が行われることを期待する。